

ー 皮膚・排泄ケア認定看護師の役割と活動 ー

皮膚・排泄ケア認定看護師はWOCとも呼ばれます。

これは皮膚・排泄ケア領域がWound（創傷）Ostomy（ストーマ保有者）Continence（失禁）と分野の広いケアを行っているため、そのように呼ばれています。

私が皮膚・排泄ケア認定看護師を目指したのは、自身がストーマケアに大いに困ったことがきっかけになりました。当時勤務していた部署でストーマ造設後の患者の受け持ちをしていましたが容易に排泄物が漏れて皮膚障害が起こり、皮膚が改善する間もなくまた漏れて皮膚障害はさらに悪化する、ということを繰り返していました。皮膚はみるみる糜爛（びらん）し、ストーマ装具の交換は疼痛が大きく、患者本人がストーマケアに対して拒否を訴えるほどでした。皮膚障害の要因が分かっているにもかかわらず漏れてしまうのか。ケア実践に結びつかないということに自分自身とても不安で悩みにもなっていました。そこで、最新の知識を得ながら実践能力向上を目指すことを目的に皮膚・排泄ケア領域を学ぶため、皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程へと進みました。現在は小児病棟で勤務しながら週1回、ストーマ外来と併せて院内・外を横断的に皮膚・排泄ケア分野に特化したコンサルテーションを受け、活動しています。

具体的な皮膚・排泄ケア分野の看護実践で、「創傷ケア」は創傷に加え、下肢の潰瘍や褥瘡、瘻孔（ろうこう）など創の治癒に適した環境の提案や予防的ケアを行っています。「ストーマケア」はストーマサイトマーキングをはじめとする術前オリエンテーションを外来から開始し、「ストーマとは」といったところから患者、患者家族と共有します。術後はストーマ合併症の予防・早期発見・早期対処を行います。またおのおのに合わせたストーマ装具の選択、ストーマセルフケア指導、生活指導等を行い、継続ケアとして「ストーマ外来」でのケアを行っています。



「失禁」は尿失禁や便失禁の要因を明らかにしながら失禁で起こってしまった皮膚障害のケア、失禁用具の検討や対処方法の提案などを行っています。

これらから分かるように皮膚・排泄ケア領域の対象は新生児から高齢者までと幅広く、本人だけでなく家族や社会など多職種と協働しながら活動を行うことが重要です。退院、転院後も他施設、訪問看護師、訪問看護ステーションなど社会生活の場においても連携し患者、患者家族へのケアを実践、提供しています。